



概要

この章は、次の項で構成されています。

- [VMware vRealize Orchestrator 用 Cisco UCS Manager プラグインについて, 1 ページ](#)
- [システム要件, 1 ページ](#)
- [メモリおよびCPU使用率, 2 ページ](#)

VMware vRealize Orchestrator 用 Cisco UCS Manager プラグインについて

vRealize Orchestrator (vRO) は、拡張可能なワークフローのライブラリを提供する開発およびプロセス自動化プラットフォームです。これらのワークフローによって、VMware vSphere インフラストラクチャを管理するための自動化された、構成可能なプロセスを作成し、実行することができます。vRealize Orchestrator では、その他の管理ソリューションと統合できるオープンプラグインアーキテクチャを使用します。

Cisco UCS Manager プラグインは vRealize Orchestrator のオープンプラグインアーキテクチャを利用して、UCS と vRealize Orchestrator を統合します。統合後、プラグインで vRealize Orchestrator の機能を利用して、UCS サーバでタスクを作成し、ワークフローを定義できます。

システム要件



(注) Web 設定ツールからの UCS ドメインの登録は、UCS Manager プラグイン リリース 1.0.4 以降ではサポートされていません。ただし、ワークフローを使用して UCS ドメインを登録できます。

ソフトウェア要件

VMware vRealize Orchestrator

Cisco UCS Manager プラグイン リリース 1.0.4 以降は、次の VMware vRealize Orchestrator のリリースでサポートされています。

- vRealize Orchestrator 7.3.x
- vRealize Orchestrator 7.2.x
- vRealize Orchestrator 7.1.x
- vRealize Orchestrator 7.0.x

Cisco UCS Manager プラグイン リリース 1.0.3 以前は、次の VMware vRealize Orchestrator のリリースでサポートされています。

- vRealize Orchestrator 7.0.x
- vRealize Orchestrator 6.0.x
- vCenter Orchestrator 5.5.x
- vCenter Orchestrator 5.1.x

Cisco UCS Manager

このバージョンのプラグインは、UCS Manager の次のメジャー リリースに対応しています。

- リリース 3.2(x)
- リリース 3.1(x)
- リリース 3.0(x)
- リリース 2.2(x)
- リリース 2.1(x)

メモリおよび CPU 使用率

メモリおよび CPU 使用率は、vRealize Orchestrator サーバの JVM プロセスのメモリおよび CPU 使用量に基づいています。Cisco UCS Manager プラグインの実行による vRealize Orchestrator 環境のメモリと CPU への影響はかなり小さく、無視できます。JVM のメモリと CPU の使用量は、プラグイン使用のさまざまな段階でモニタされます。